



広島東南ロータリークラブ 週報 2018年2月19日 (第2684回例会)

例会日 月曜日 ANA クラウンプラザホテル広島 Tel. 241-1111
事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 Tel. 221-4894
会長 伊藤正樹 幹事 菅 富誉樹



2月は「平和と紛争予防/紛争解決月間」です

本日の例会

スケジュール

物故会員に黙祷 潮津善治郎君(広島南RC)1/11ご逝去(78歳)
12:30 点 鐘
ロータリーソング「我らの生業」
来客紹介 (親睦委員会)
会食
12:45 会長時間 (伊藤会長)
「創立記念日に寄せて」吉岡民登会員
幹事報告 (菅 幹事)
委員会報告
・出席報告 (出席委員会)
・その他
同好会報告
S.A.A.
13:00 プログラム
13:30 点 鐘

会長時間

○連続出席 100% 会員 (2月表彰分)
吉岡民登君 35年* 山下 泉君 32年
中村伸弘君 30年* 林 良一君 20年*
早田良二君 16年 中谷一彌君 16年
柄 博治君 15年* 岸本秀樹君 11年
中畝將博君 3年 吉田範子君 1年*

幹事報告

○例会終了後、次年度理事役員会開催
○本日 18:30 より「支店長会員を囲む会」開催

本日のプログラム

「現代に生きる箏」箏演奏家 木原朋子様

次回例会 (2月26日)

「成功からの学びと失敗からの学び」
稲葉社会保険労務士事務所代表
(株)ビズサポート代表取締役 稲葉琢也様

お知らせ

入会式

2月5日例会にて、見正伸也君 (株式会社アンプ) の入会式が行われました。推薦者は、衣笠准一君と森原弘昌君です。



入会ご挨拶 見正 伸也

この度、衣笠 准一様、森原弘昌様のご推薦を頂き、伝統と歴史ある広島東南ロータリークラブに入会させて頂きました、株式会社アンプの見正伸也と申します。何卒宜しくお願ひ申し上げます。

可部小～可部中～可部高と、高校まで広島で過ごしたのち、大学は福岡、最初の就職先は愛知県のカラクターグッズを企画する会社に勤務したのち、生まれ故郷に戻って参りました。

現在は広告制作会社を経営しております、お陰様で今年で15年目となります。広告を通して、企業やサービス、商品の価値を見出し、最適な表現で発信し、消費者と繋げていく。それが私たちの仕事です。仕事柄、様々な業種の方達とご一緒させていただく機会がありますが、もっと多くの人と会って自分の視野・価値観を高めて可能性を広げたいと思い、広島東南ロータリークラブの入会を決意いたしました。若輩ではございますが、諸先輩方と様々な活動を共にし、学ばせて頂き、少しずつ成長していきたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻の程、何卒宜しくお願ひ申し上げます。



ポールハリスフェロー表彰
天野國幹君、杉山顕彦君

今後の予定

○支店長会員を囲む会 - 河豚の陣

とき 2月19日(月)18:30～
ところ 上関芸陽

★インターシティミーティング

とき 3月11日(日)
14:00-会議/17:15-懇親会
ところ リーガロイヤルホテル広島4F

★第2回経営研究会

とき 3月14日(水)18:30～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島3F
講師 山下泉会員、神田敏治会員
演題 「広島の不動態事情と不動態を中心とした相続対策について」

★ガバナー杯野球大会

前夜祭 3月16日(金)18:00～21:00
於 ホテルグランヴィア広島
試合 3月17日(土)・18日(日)

*勝ち進めば...3月31日(土)準決勝・決勝

◎パールハーバーRC来広

日程: 4月5日(木) - 10日(火)

前回 2018年2月5日例会

「クラブ創立記念日に寄せて」—あの頃のこと、そして今思うこと— 日域 大陸 会員



私は、1976年（昭和51年）に広島東南ロータリークラブに入会しました、42年間在籍しています。

最初に入会への声をかけていただきましたのは、中区千田町に精神科クリニックを開業しておられました日高靖彦先生です。

日高先生とは、広島市医師会千田・大手町ブロックの会合などで親しくしていただいた関係です。毎週月曜日の昼、12時半からの例会出席は、診療時間の関係で無理なのでお断りしていましたが、“医者以外の人と付き合うのも豊かな人生経験になりますよ”

と、熱心に誘われ入会しました。

紹介者は、当時の広島市民病院院長 甲斐太郎先生（岡山医大外科の大先輩）と、当時の広島医大第2外科教授 江崎治夫先生（広島外科会でお世話になりました）です。入会時の会長は藤野良一さん（藤野商店社長）でした。錦織さんが私の1歳年上で、ちょうど1年前に入会されていました、私はクラブで最年少でした。修道学園先輩の廣谷さん（現会員 廣谷さんのご主人様）と北川さんから、“よう入ってきたのー”と歓迎の言葉をかけていただいたことを覚えています。

当時、例会場はJR広島駅のステーションホテルでした。職場から30分かかりますので、しばしばメイキャップせざるを得ませんでした。何度か“退会すべきか”と脳裡をかすめましたが、会員皆様の友情のお蔭で今日まで在籍することができました。例会では、メイキャップの時もできるだけ最後まで卓話を傾聴することを心掛けています。卓話者の人生観や、職業に取り組む姿勢などに触れ、自分に足りないものを勉強させていただき、今日までの会社経営の指針の糧となっています。今後も現役を続ける限り、ロータリーで勉強したいと思えます。

今後ともよろしく願いいたします。



昭和入会の（左より）中村伸弘君、吉岡民登君、山下泉君、日域大陸君、吉田信秀君に「クラブ創立記念日に寄せて」と題してお話をいただく予定でしたが、2/5は時間の関係で、日域君お一人にスピーチをいただきました。四名の皆様には、2/19・2/26・3/5・3/12 各例会会長時間にスピーチをいただきますので、よろしく願います。

2月5日 累計：1,077,122円（本例会 35,000円）

- ◎林 満生・中谷一彌・久保和浩・佐々木 誠・天野國幹・村上賢一・山仲 巖・橋本浩二・中脇令子・旦 康次郎・松原 進・小杉真澄：2月に誕生日を迎えられる方、おめでとうございます。（各1口、12口）
- ◎品川晃二：①私の長女が、この度婚約いたしました。先日2月3日に、当ANAクラウンプラザホテルの「雲海」にて相手のご両親とともに食事会をしました。
②妻の誕生日にきれいなランの花を頂きました。喜んでます。（4口）
→小杉真澄会員よりとばかりで1口ご出室（1口）
- ◎橋本浩二：①先週は悪い日が続きました。水曜日、コンビニの縁石に乗り上げ、レッカー車を呼んでもらうよう、品川さんにはお願いしましたが、自分で引っ張り出せたので中止してもらい、パニックな1日でした。
②昨日は、廿日市で覆面パトカーに右車線を長い間走っていて切符を切られました。気をつけないといけないと反省の今日この頃です。（2口）
→品川晃二会員よりとばかりで1口ご出室（1口）
- ◎脇野賢治：2位の美学を衣笠会員に持って行かれ、また優勝してしまいました。（1口）
- ◎谷井 智：今月の「ロータリーの友」に妻以外の女性と手をつないでいる写真をフライデーさせていただきました。今後気をつけます。（1口）→菅富樹会員より、「息子の写真が同様にロータリーの友に掲載されていた」ということで1口ご出室（1口）
- ◎佐々木誠：優良従業員表彰を受賞させて頂き、ありがとうございました。（1口）
→要田昭治会員より、同様に優良従業員表彰のお礼と、会社の創立記念ということで2口ご出室（2口）
- ◎高橋 潔：過日、家内の誕生日に、立派な花を頂戴しありがとうございました。お陰様で会話が增えました。（1口）
- ◎小杉真澄：皆様のボックスに、レストランのパンフレットを入れさせて頂きました。今回で4回目となる「シェフズライブキッチン」と中国料理 桃李の「チャイナガーデン」です。「シェフズライブキッチン」は、2月27日（火）19時から開催いたします。今回はこの時期の味覚「河豚」をご用意しました。河豚ざくポン酢、河豚のから揚げ、ふぐ汁、ひれ酒などです。各レストランの味が楽しく、フリードリンク付きでお一人様12,000円と、とてもお得な内容となっています。チャイナガーデンは、フリードリンク付きで6,000円の中華コースで、トゥー・プラス・ワンも対象のコースです。是非、お誘い合わせの上お越し下さいますようお願いいたします。（3口）
- ◎見正伸也・衣笠准一・森原弘昌：本日入会された見正会員・紹介者の衣笠会員・森原会員より1口ずつご出室（各1口・合計3口）
- ◎カエルボックス：2口



麻雀優勝の脇野賢治会員

原爆から生き残る

横組みP8-9



松原 進

筆者はご自分で悲惨な被爆体験をされ、「90才となった今も、あの日のことをはっきり覚えている。このような爆弾はあるべきではない。私はこれからの人生を平和活動にささげる。」と記されています。広島医療関係者は、大戦中疎開を禁じられ多くの原爆犠牲者を出しながら、焼け野原の中で、救護活動に取り組みました。それらの取り組みは「ヒロシマ医師のカルテ」として出版をされ、原爆後障害研究の項では東南RCの名誉会員でいらっしゃる伊藤剛二先生も「原爆被爆者における胃癌発生についての私の考え」として記されています。この本の一部は英文に翻訳され、医師会のホームページから閲覧できます。

被爆70年を越え当時の先生方の経験を生の声で伝えるべく、講師にお招きして学生を対象に広島市医師会が会を開いています。私が小学校の頃、当時の教師が「広島にだけは住むな、就職はするな。」と今思えば誤った知識を与えられたのを覚えています。その広島に大学で来てもう50年を過ぎようとしています。私は被爆2世ではありませんが、広島市医師会被爆2世医師の会の会員として、少しでも平和への取り組みに協力できればと考えます。

私の考える平和とは

横組みP14-P15



小杉 真澄

「不戦の誓い」「平和への願い」私は戦後生まれですので、当然戦争を知りません。東京生まれですから記載があるように東京大空襲の話は母親よりよく聞かされておりました。母親も世田谷生まれで私の生家も目黒でしたので集中的な爆撃を受けた地域とは異なりますが、それでも爆弾が近くに落ちたとも話しておりました。広島訪問時に前アメリカ大統領オバマ氏が述べた言葉とは意を反して真逆の構想を現大統領トランプ氏は打ち出し、爆発力が小さい核兵器を開発する計画を明かしました。安全保障環境やロシア・中国の行動に対してとっていますが北朝鮮の核開発や保有を正当化させる事にも繋がります。この先世界的には人口増加が見込まれますが、食料問題や宗教・領土問題などにより紛争は勿論のこと核戦争などが勃発しないこと祈るばかりです。今後も各国は何処に進んで行くのでしょうか。

戦争に立ち向かうロータリアンが主人公の映画

横組みP15-P16



山仲 巖

戦争に立ち向かうロータリアンが主人公の映画、ニコラス・ウィンストン氏の業績を取り上げた、ドキュメンタリー映画“ニコラス・ウィンストンと669人の子供たち”という映画について感想執筆されていました。

第二次世界大戦中にナチスに迫害されていた、チェコのユダヤ人の子供たちを避難させる活動のドキュメンタリー映画とのこと。当社の顧客にも、チェコ・ユダヤ系アメリカ人がおり、彼らの生い立ちを以前に聞いて衝撃を受けたことを思い出しました。

その中で、ニコラス・ウィンストン氏の“一見不可能なようなことでも、必ず道はある、もし、人がそれに全身全霊を注ぐと決心したら”という言葉と、彼らが言っていた“兎に角命さえあれば、何とかなる”という彼らの言葉を照らし合わせて読ませていただきました。

今現在の当たり前のように平和な世の中であること、その中で、生かされている私たち。平和の尊さと、全身全霊を注ぐことの尊さを改めて認識させられました。

一度この映画を観る機会を作ってみたいと思います。

がん予防教育と音楽公演(岩国西RC) 縦組みP34



旦 康次郎

日本人の2人に1人が「がん」を患い、3人に1人が「がん」で死亡。この現実とその原因となる生活習慣5項目を訴え青少年教育に取り組んでいるものですが、私は人の健康を左右する最も影響力の大きい、住まいと職場の空気を、常時クリーンに保ち、住めば住むほど元気になる、健康住宅エアリードを設計・施工する会社、アイレストホームを創業して28年になります。私たち人間の1日の空気摂取量は、2ℓ入ペットボトル5000本分の空気を体内に吸収。人体の83%にも及ぶ物質を空気から摂取しているのに対し、飲食からは15%です。飲食物は肝臓で解毒作用がありますが、目に見えない空気中の汚染物質は直接体内に吸収・蓄積され、原因不明のシックハウス予備軍になります。

住まいは=家族を守る重要な『城』です。我が家に帰る喜びとストレスを解消する快適さの保持が必要です。長時間留守をしても当社独自の「幻の漆喰®」と「音響熟成木材®」による調湿・保温・省エネ・消臭・解毒作用まで優れた性能に守られて快適空間を保つ「エアリード®」なら安心です。空気の良し悪しはドアを開けた瞬間に嗅覚で判断できます。

がん予防教育と音楽公演(岩国西RC) 縦組みP34



橋本 浩二

私の身じかでもガンを持った人がいます。2人に1人はガンになるそうです。そして3人に1人はガンで無くなるそうです。夫婦2人の内奥さんがガン。まさに2人に1人。

一昨年からがん予防についての活動をクラブで行なってきましたが、具体的に学校に出向いて行き生徒を前に講演を行なう等、教育的活動はしなかった。

「やってたつもり」早く行動を起こそう。と言う事を気づかされた記事であった。

3年も前からガバナーから託された課題であった。自分自身が身じかに経験した事もふまえて行動を起こすべきだと感じた。

戦線からの生還・開拓・奨学金 縦組みP4-P8



天野 國幹

東南アジアは日本から近いこともあり旅行好きの私は、ほとんどの国を旅行しましたがミャンマーには行ったことがありません。記事を読んで一度行ってみたい気持ちになりました。台湾でも親日感情が強く、そんな国を旅行するのは楽しく安心もできます。

著者の今泉さんの原稿には心を強く動かされました。私を捨てて他人のことを思う心は普通の人にはできないことで本当に尊敬に値します。私の父が生存中、私に似たようなことを言ったことを思い出しました。「他人のことを100%考えなさい、そうしても自分のことは50%以上考えてるものだから」と。なるほどと思っていたのですが、今泉さんの場合奨学金の金額を見ても100%他人のことを考えておられます。私もなかなかその域に達しそうもありませんが、ロータリーを通して人のためになるよう頑張ってみようと思いました。

戦線からの生還・開拓・奨学金 縦組みP4-P8



林 満生

第二次世界大戦のご経験からはじまり、忸怩たる思いを背負いながらの生還、そして周囲の親切を得つつ、粘り強いご努力で自立、そして財団を設立され、その取組みによって国を超えて感謝・奉仕のスパイラルが昇華していったと。その様に、常に前向きで他の

ために無私の行動に移ることに躊躇がない姿勢に深く感銘を受けた。さらに後進の人々がその意思を引き継いでいくというルールまで敷かれた。

それは、ロータリアン精神の体現だと云えるのではないか。わが身に当てはめると、果たして、こうした無私の行動、感謝・奉仕のスパイラルの一端に達しているだろうか?と思ひめぐらせ、少々その心許なさに更に身が細る思いがした。

是非、生で聴講したかったなと思うとともに、日々の会社・組織のマネジメントにも必須の精神・姿勢であると肝に銘じて自らも磨いていこうと考えた。

戦線からの生還・開拓・奨学金 縦組みP4-P8



佐々木 誠

真っ先に頭に浮かんだのは、インコが「オーイ、ミズシマ、イッシュヨニ、ニッポンニカエロウ」でした。市川崑監督の1865年度版「ビルマの豎琴」です。中井貴一主演。

劇中の中の主人公水島もそうでしたが、同じ釜を食べた仲間、ましてや死線をくぐり抜けていけなかった同僚に対する思いは生き残った人間にとっては変わらないのだ。それが世界どこにしようとも。

その思いの強さが体を突き動かす源であるし、これこそがロータリー活動に通ずる超我の精神なんだろうと。

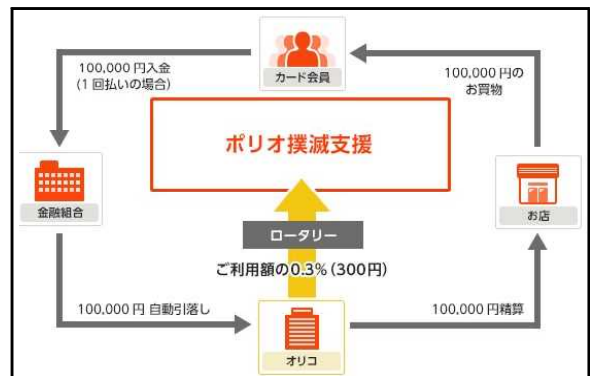
ただ、その一方で教育の在り方も考えざる負えないなども。

文中に「あんな馬鹿な戦争をして。なんということか」という風潮があったと書かれていました。「戦争は悪である」その事については異論はありませんし、美化することもないのですが、あまりにも悪い部分を強調しすぎて見えてない部分が多すぎる。

最近では、ネットのおかげで一面的な側面だけではなく違った観点からの情報も入り、色々な観点からものを見ることができるようになりました。多方面からの史実を伝えていくという情報発信の必要性も教育にはあると思いました。

<他クラブ例会臨時変更のお知らせ>

- 03/01(木) 広島安佐 RC → 夜間例会
- 03/15(木) 広島西 RC → 夜間例会
- 03/19(月) 広島中央 RC → 職場訪問例会
- 03/22(木) 広島北・西・安佐 RC → 休会
- 03/23(金) 広島城南 RC → 休会
- 03/28(水) 広島陵北 RC → 30 花見例会
- 03/30(金) 広島城南 RC → 夜間例会



ロータリーカードでポリオ撲滅支援にご参加を！
ロータリーカードをご利用いただくと、ご利用金額の0.3%がロータリーに送金され、ポリオ撲滅に役立てられます。0.3%はオリコの負担となりカード会員の皆様には一切負担がかりません。